

第38回 原子力委員会臨時会議 議事録

<日時> 1993年10月8日(金) 10:30～

<場所> 原子力委員会会議室

<議題>

- (1) 第37回 IAEA 総会の結果について
- (2) 米国の核不拡散政策について

<審議事項>

- (1) 議事録の確認

事務局作成の第37回原子力委員会臨時会議議事録(案)が了承された。

- (2) 第37回 IAEA 総会の結果について

事務局から1993年9月27日(月)から10月1日(金)までオーストリアのウィーンにおいて開催された第37回 IAEA 総会の結果について報告があり、北朝鮮の補償措置協定不履行に関する総会決議の表決結果(決議案賛成72ヶ国、反対2ヶ国、棄権11ヶ国)は、よく認識する必要がある等の意見があった。

- (3) 米国の核不拡散政策について

事務局から1993年9月27日(月)に公表された米国の核不拡散政策について説明があり、

- ・米国が西欧と日本の民生用原子力計画におけるプルトニウム利用に関し従来からのコミットメントを維持するとしたことは、米国が日本、西欧に対し信頼感を持っていると考えてよいのではないか。
- ・米国は自ら発電用としてもプルトニウムの分離を行わないとしているが、これとの関係で米国のALMRの研究開発やFFTFをめぐる動きがどうなるかは重要である。
- ・中国が核実験を行ったことに対する、米国及び他の核兵器国の動き等の関連動向をフォローしていく必要がある。

等の意見が出され、本件に関する今後の推移は引き続き原子力委員会として十分に注視していくこととした。